ねんきんだより Pensions News

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書が発行されます

～年末調整・確定申告まで大切に保管を～

国民年金保険料は、所得税および住民税の申告で全額が社会保険料控除の対象となります。その年の１月から12月までに納付した保険料が対象です。

控除を受けるためには、納付したことを証明する書類の添付が義務付けられています。このため、令和３年１月１日から９月30日までの間に国民年金保険料を納付されたかたには、社会保険料（国民年金保険料）控除証明書が本年11月上旬に日本年金機構本部から送付されますので、年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書（または領収証書）を添付してください。

また、令和３年10月１日から12月31日までの間に今年はじめて国民年金保険料を納付されたかたには、翌年の２月に送付されます。

なお、ご家族の国民年金保険料を納付された場合も、ご本人の社会保険料控除に加えることができます。ご家族あてに送られた控除証明書を添付し申告してください。

控除証明書についてのご照会は、控除証明書のはがきに表示されている番号にお問い合わせください。

○ねんきん加入者ダイヤル　0570-003-004

問合せ　太田年金事務所 ☎49－3716

消費トラブルにご注意！

強引な自宅買取りにご注意！

【事例】

要介護認定を受け、ひとり暮らしをしている。突然、不動産業者から「住宅に関する有利な情報がある」と電話があり、訪問を承諾したところ、すぐに営業員２人が訪ねて来て「自宅を1,000万円で買い取る。その後は家賃10万円で住み続けられ、管理費や固定資産税もかからない」と言われた。ひとりでは決められないと１度は断ったが「早く決めないと売れなくなる」とせかされ、また、夜11時頃まで帰らず勧誘され続けたため、結局、契約書にサインしてしまった。解約したい。（80歳代 女性）

【ひとこと助言】

自宅を不動産業者に売却した場合、クーリング・オフはできません。契約解除には手付金の倍額を支払うか、契約条項に基づく高額な違約金が必要となります。不動産など特に高額な取引は、ひとりでは対応せず、信頼できる人に相談するなど、取引の内容を十分理解するまで契約してはいけません。安易に自宅を売却してしまうと、住む場所がなくなるなど、その後の生活に深刻な影響が生じる可能性もあります。自宅を売るつもりがなければ、はじめから訪問を許さず「売りません」「契約しません」ときっぱり断りましょう。

困ったときは、消費生活センターにご相談ください。

相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
11月３日（祝）	湯沢医院 ６２－２２０９	こやなぎ小児科※ ８０－２２２０	慶友整形外科病院 ４９－９０００	－
11月７日（日）	まりレディスクリニック ７６－７７７５	うえの医院 ７２－３３３０	岡田整形外科クリニック ７２－３１６３	川田耳鼻咽喉科医院 ７２－３３１４
11月14日（日）	新井内科クリニック ２０－１２２０	堀越医院 ７３－４１５１	館林市夜間急病診療所 ７３－２３１３	－
11月21日（日）	福田ペインクリニック ８４－１２３３	益田小児科医院※ ６２－５５３５	川島脳神経外科医院 ７５－５５１１	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
11月23日（祝）	ごが内科楡クリニック ７３－７５８７	横田医院 ７２－０２５５	新橋病院 ７５－３０１１	－
11月28日（日）	かさはら内科医院 ５５－２５３７	阿部医院 ６２－５４２８	小曽根整形外科 ７２－７７０７	－
12月５日（日）	いたくら内科クリニック ７０－４０８０	星野こどもクリニック※ ７０－７２００	館林医院 ７４－２１１２	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３
12月12日（日）	森下内科医院 ７３－７７７６	金丸内科医院 ８８－３２００	明和セントラル病院 ８４－１２３４	－

歯科	
館林邑楽歯科保健医療センター ７３－８８１８ 午前９時～正午	◆緊急　公立館林厚生病院　☎７２－３１４０（内科系・外科系） ◆コロナに関すること　群馬県受診・相談センター ☎０５７０－０８２－８２０（24時間受付）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）
●内科系の※は、小児科のみとなります。●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。
●救急テレホンサービス　☎７３－５６９９：受診可能な病院を紹介しています。

Face フェイス

町のよいところをもっとたくさん知ってほしい

ようこそ板倉町へ ボランティアで観光案内

大塚和雄さん

おおつか　かずお　76歳
大字海老瀬　在住

「板倉町観光サポータークラブ」にガイドをしてもらいたいという場合は、役場商工観光係にお問い合わせください。
英語でのガイドサービスにも対応しています。
問合せ　商工観光係
☎８２－６１３９

板倉町観光サポータークラブ

頼母子のシダレザクラや離山のヒガンバナが見頃になると、ボランティアで、訪れた人に町の紹介をしている「板倉町観光サポータークラブ」代表の大塚さんにお話を伺いました。

町のことをもっと知ってほしい

サポータークラブは、板倉町に来てくれた人に、もっと板倉のことを知ってほしい、楽しんでほしいという思いで、渡良瀬遊水地を案内するボランティアガイドをしていた有志たちと設立しました。

現在は、板倉町の歴史や文化、自然を紹介し、地域を活性化していきたいという仲間も13人に増えましたが、活動は常に自由参加で、和気あいあいとした雰囲気の中で運営されています。

自作の缶バッジをプレゼント

主な活動場所は、シダレザクラ、ヒガンバナ、三県境などですが、東武鉄道が開催した水場の景観と田園を巡るツアーなどでも町の観光ポイントの紹介で活躍されています。

海老瀬の離山公園は東地区活性推進協議会がボランティアで整備されたそうですが、「今年はコロナ禍に配慮し、のぼり旗は立てず、積極的な案内は控えています」ということです。一日に１００人ほどの来訪者に、大塚さん自作の缶バッジをプレゼントしたり、縄文時代初期には近くまで海が来ていた証拠の貝塚があることなどを、３密に気をつけながら解説されていました。

紹介するポイントを増やしていく

今後は、町内の寺社、水場の景観や歴史など、紹介する観光スポットをさらに増やしていきたいと、目を輝かせながら語ってくれました。

また、町の観光などに興味があり、一緒に活動してくれるかたも募集しているということです。大塚さんの現在の悩みは、三県境の缶バッジのデザインをどうするかということでした。

レポーター
広報編集委員
小林（こばやし）　登（のぼる）